



気象ポケットブック

～ 台風 ～

P1：台風とは

P2：台風情報（実況と5日先までの予報）

P3：台風の一生

P4：台風の発生・接近・上陸

P5：台風の強さ・大きさ

P6：風の強さと吹き方

P7：(参考)平成14年台風第21号



福島地方気象台

台風とは

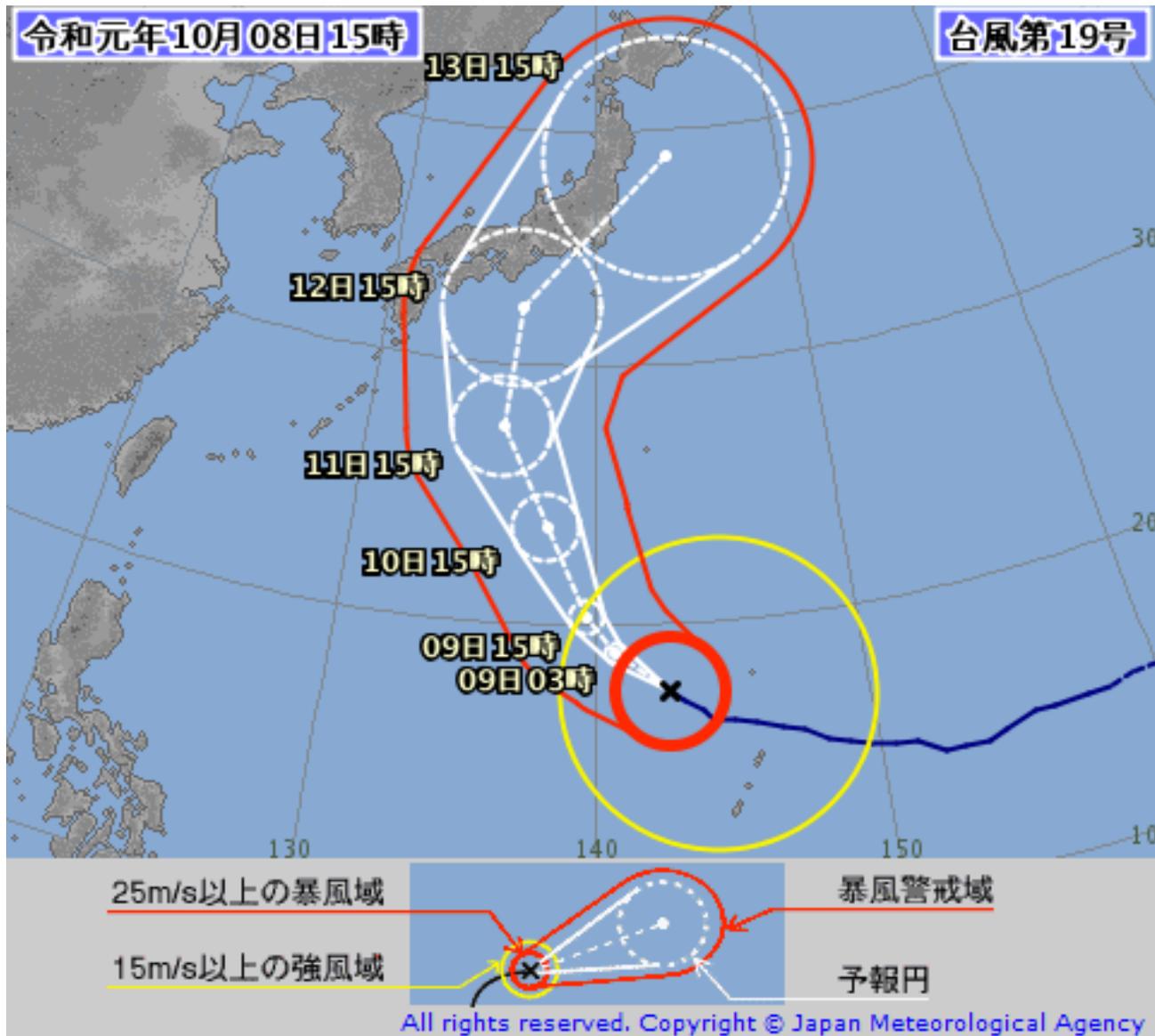
熱帯の海上で発生する低気圧を「熱帯低気圧」と呼びます。

このうち北西太平洋、または南シナ海に存在し、なおかつ低気圧域内の最大風速がおよそ17.2m/s（34ノット）以上のものを「台風」と呼びます。

北西太平洋（赤道より北で東経180度より西の領域）

熱帯低気圧			
	北西太平洋	北東太平洋 大西洋	インド洋 南太平洋
	台風 "Typhoon"	ハリケーン "Hurricane"	サイクロン "Cyclone"
	一覧	一覧	一覧

台風情報（実況と5日先までの予報）

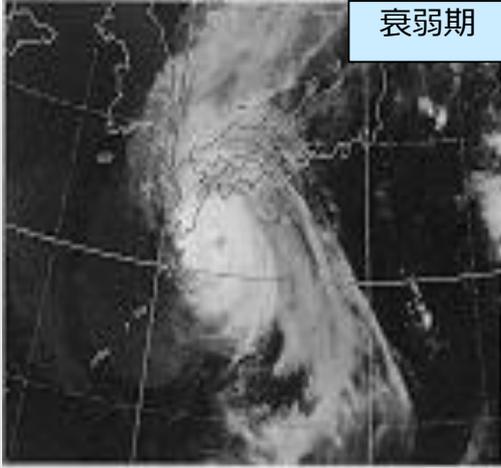


台風の1日（24時間）先までの12時間刻みの予報を3時間ごとに発表し、さらに5日（120時間）先までの24時間刻みの予報を6時間ごとに発表します。予報の内容は、各予報時刻の台風の中心位置（予報円の中心と半径）、進行方向と速度、中心気圧、最大風速、最大瞬間風速、暴風警戒域です。

台風的一生

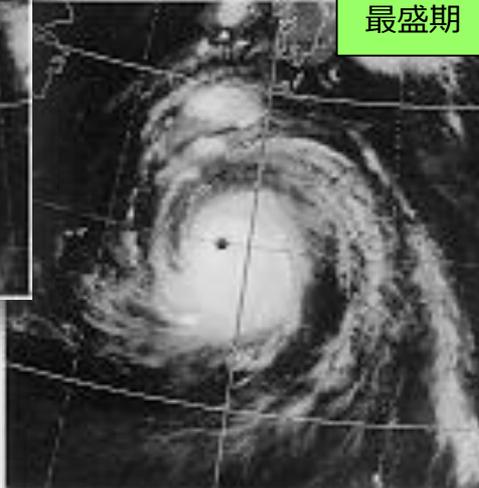
平成2(1990)年 台風第19号の例

衰弱期



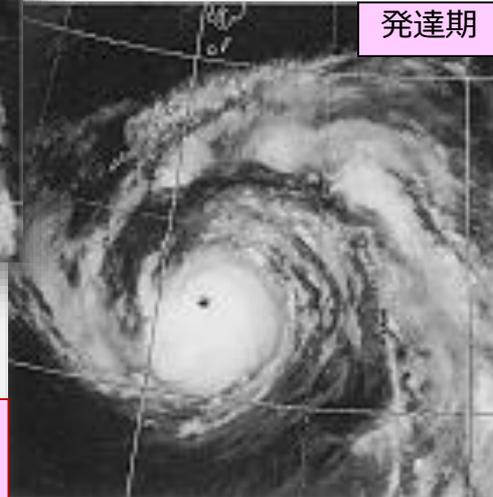
衰弱期：水蒸気の供給が減少し、台風としての性質が次第に失われ、温帯低気圧に変わる。

最盛期



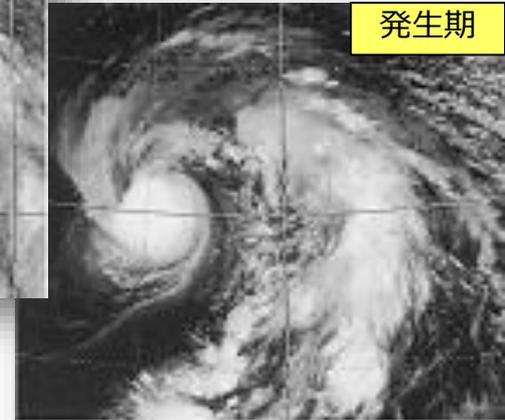
最盛期：中心付近の最大風速は徐々に弱まる傾向だが、暴風の範囲は広がる傾向がある。

発達期



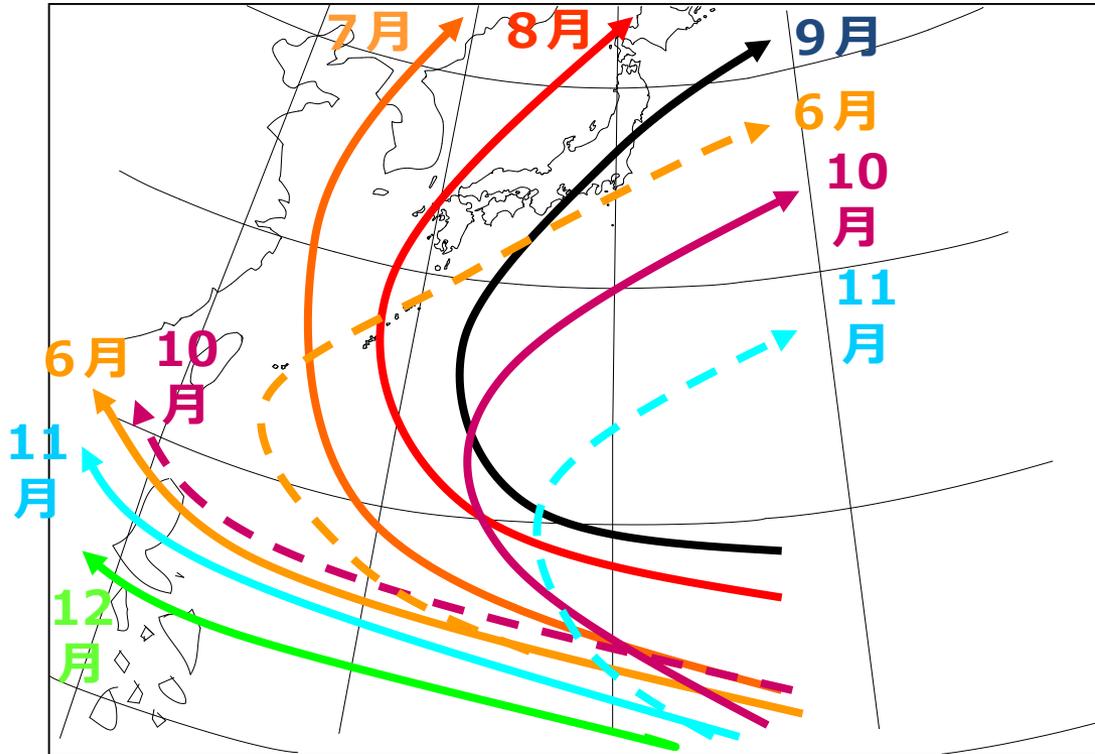
発達期：中心気圧が下がり勢力が増す。水蒸気が供給され、中心気圧が更に下がり最大風速も急速に強まる。

発生期



発生期：熱帯の海上では積乱雲が発生。これらが多数まとまって渦を形成し、渦の中心の気圧が下がり台風となる。

台風が発生・接近・上陸



台風の月別の主な経路（実線は主な経路、破線はそれに準ずる経路）

台風は夏から秋にかけて日本に近付くことが多い



台風の平年値

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
発生数(注1)	0.3	0.3	0.3	0.6	1.0	1.7	3.7	5.7	5.0	3.4	2.2	1.0	25.1
接近数(注2)				0.2	0.7	0.8	2.1	3.3	3.3	1.7	0.5	0.1	11.7
上陸数(注3)					0.0	0.2	0.6	0.9	1.0	0.3			3.0

(注1)「接近」は台風が国内のいずれかの気象官署から300km以内に入った場合を指します。

(注2)「上陸」は台風が北海道、本州、四国、九州の海岸線に達した場合を指します。

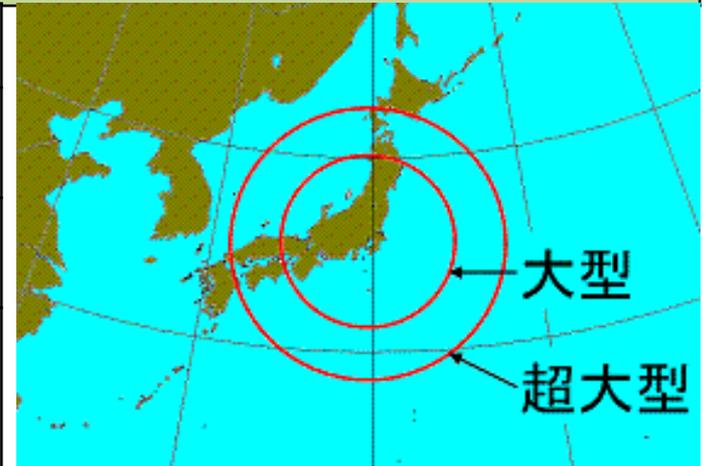
台風**の強さ・大きさ**

強さは風の強さで表します

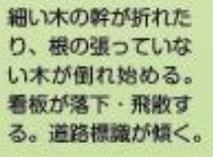
強さの階級	最大風速（10分間平均）
強い	33m/s（64ノット）以上44m/s（85ノット）未満
非常に強い	44m/s（85ノット）以上54m/s（105ノット）未満
猛烈な	54m/s（105ノット）以上

大きさは強い風の範囲で表します

大きさの階級	風速15m/s以上の半径
大型（大きい）	500km以上800km未満
超大型 （非常に大きい）	800km以上



風の強さと吹き方

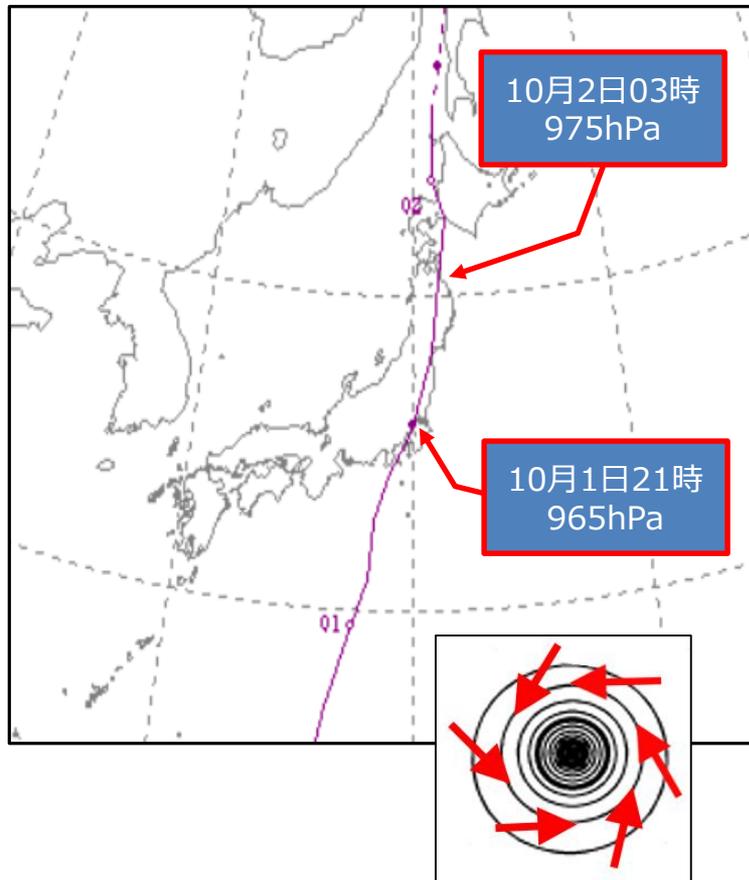
平均風速 (m/s) おおよその時速	風の強さ (予報用語)	速さの目安	人への影響	屋外・樹木の様子	走行中の車	建造物	おおよその 瞬間風速(m/s)
10~15 ~約50km/h	やや強い風	一般道路の自動車	風に向かって歩きにくくなる。傘がさせない。 	樹木全体が揺れ始める。電線が揺れ始める。 	道路の吹流しの角度が水平になり、高速運転中では横風に流される感覚を受ける。 	樋(とい)が揺れ始める。 	20
15~20 ~約70km/h	強い風		風に向かって歩けなくなり、転倒する人も出る。高所での作業はきわめて危険。 	電線が鳴り始める。看板やトン板が外れ始める。 	高速運転中では、横風に流される感覚が大きくなる。 	屋根瓦・屋根葺材がはがれるものがある。雨戸やシャッターが揺れる。 	
20~25 ~約90km/h	非常に強い風	高速道路の自動車	何かにつかまっていな いと立っていられない。 飛来物によって負傷す るおそれがある。 	細い木の幹が折れた り、根の張っていない 木が倒れ始める。 看板が落下・飛散す る。道路標識が傾く。 	通常 の速度で運転する のが困難になる。 	屋根瓦・屋根葺材が飛散 するものがある。固定され ていないプレハブ小屋が 移動、転倒する。ビニール ハウスのフィルム(被覆材) が広範囲に破れる。 	40
25~30 ~約110km/h			固定の不十分な金属屋 根の葺材がめくれる。 養生の不十分な仮設足 場が崩落する。 	50			
30~35 ~約125km/h							

(参考) 平成14年台風第21号

平成14年(2002年)10月

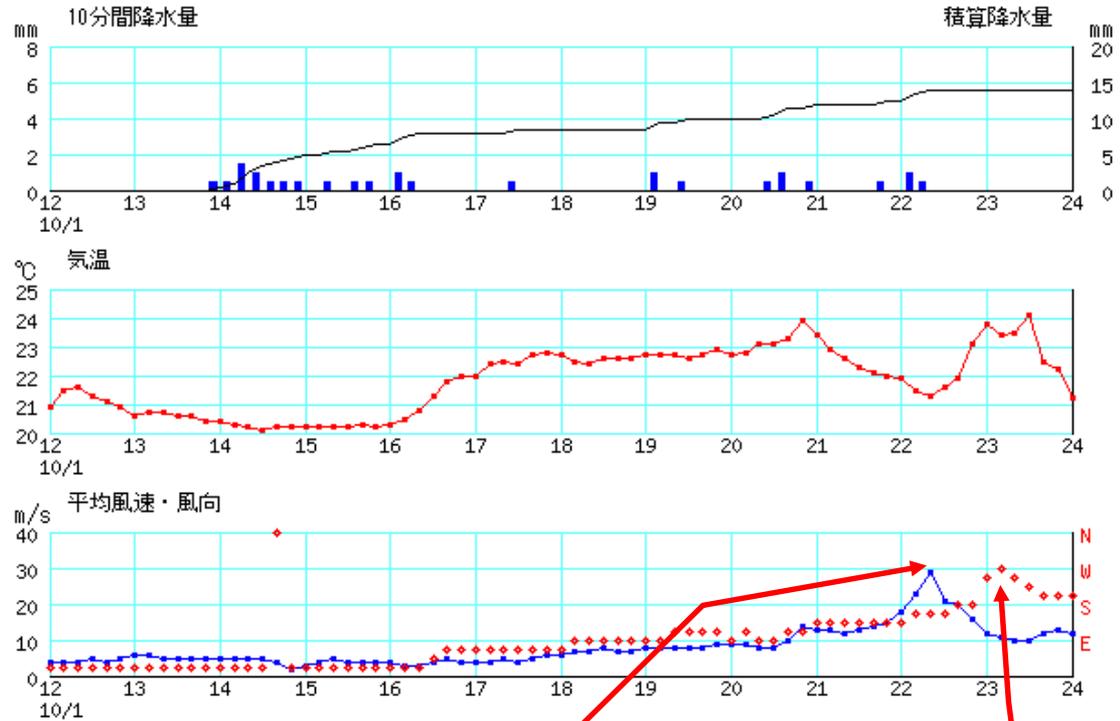
- 関東南部に上陸し、北日本を縦断。 関東から北日本の太平洋側で暴風。
- 小名浜では最大風速28.8メートル(南南東 10月1日22時20分)、最大瞬間風速48.1メートル(南東 1日22時10分)を観測。

台風経路図



台風周辺の風向き(北半球)

小名浜(36846) 2002年10月1日12時~2002年10月1日24時



10月1日22時過ぎ
南南東の非常に強い風

10月1日23時過ぎ
西の風が変わる